

新車を超える、圧倒的な美しさへ。

ダイヤモンドキーパーの魅力に迫る!

DIAMOND KeepPer.

W DIA KeepPer.

W DIA KeepPer. PREMIUM

実際のダイヤモンドと ダイヤモンドキーパーとは関係がない

キーパーコーティングの最高峰商品にダイヤモンドキーパーがあります。KeepPerのボディガラスコーティングの最初の商品であり、KeepPerの中で“最高”の価値がある商品という意味で、“ダイヤモンド”キーパーとしたわけですが、実際のダイヤモンドとは何ら物理的つながりはありません。

硬くてもろいガラスコーティングは昔からあった

昔から、自動車の車体用にガラスボディコーティングは存在していました。パーヒドロポリシラザンという原料からできたコーティング剤で、塗装上に塗られてから空気中の水分と化学反応して、アンモニアと水素が飛んで、SiO₂だけが残る無機ガラスコーティングです。これを旧ガラスコーティングと呼びます(防蝕、防湿性は高い)。

しかし硬いだけでなく密着性も良くないので、塗装に塗ってものはがれやすく、ナノレベルの極薄の厚みでしか塗装面に塗布することができません。だから、元々の塗装に微細な凹凸がある場合(ほぼすべての場合)、回転パフのポリッシャーとコンパウンドを使って表面の凹凸を削り取り、塗装表面を平滑状態にしてツヤを出してから旧ガラスコーティングを施すことになります。

旧ガラスコーティングは研磨が必要なので、 ほとんど新車にしか施工されない

だから、新車は元々の塗装の凹凸が少ないので簡単だが、経年車の場合、すでに塗装が摩擦などで傷み、表面の凹凸が大きくなっているため、ポリッシャーとコンパウンドを使った前処理の作業量が大きく必要で、経年車への施工はほとんどされていません。

旧ガラスコーティングはガラス膜が薄すぎて かえってポリマーより弱い?

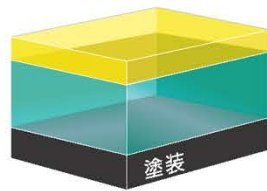
旧ガラスコーティングはあまりに薄く、また硬くもろいので、割れたり剥がれたりして、その耐久力はポリシロキサン等を使ったポリマーコーティングよりも、むしろ弱いといえます。

だから、旧ガラスコーティング後の洗車では、洗車機の仕様や指定以外のシャンプーさえも禁止するなど、過度な注意事項を設けています。塗装以上にコーティングに神経を使わなければならないという本末転倒の結果となり、何のメリットがユーザーにもたらされるのか疑問を持たざるを得ません。

ダイヤモンドキーパーは 発想を転換した柔軟なガラス被膜

それに対して、ダイヤモンドキーパーは旧ガラスコーティングと同様、基本的に被膜はSiO₂で構成され、無機ゆえのタフさを持っています。しかし、その分子的結合が制限的にコントロールされているため、柔軟な“低分子(アルコキシオリゴマー)”の状態になっています。つまり、地球上で一番硬いダイヤモンドどころか、塗装と同じ硬さ(鉛筆硬度4H程度)の柔軟な被膜を形成します。実はこのコントロールこそがKeepPer独自の技術であり、ノウハウなのです。

【ダイヤモンドキーパーの構造】



ガラス被膜
+レジン被膜の
2層構造

1ミクロンレベルの驚異的な厚みの ガラス被膜によるアンカー効果

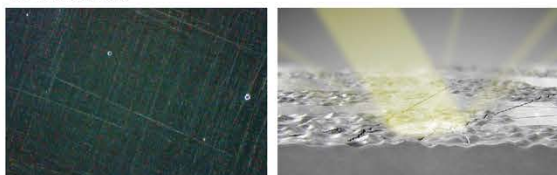
ダイヤモンドキーパーは、低分子状態のSiO₂の透明被膜で、柔軟性と分厚さを持っているので、塗装上の凸凹に锚を降ろしたようなアンカー効果で塗装上に留まります。また塗装の上で平均1ミクロンレベルでの厚みを保つことができます。旧ガラスコーティングによくあるような塗装に有害な有機溶剤を含むこともありません。

1ミクロンの厚みのガラスが塗装の凸凹を平滑。 独特のツヤが出る

分厚いガラス被膜が、塗装表面の凸凹を埋める形で平滑化して、新車は新車以上の独特のツヤを出し、経年車であってもまるで塗装を新車状態に戻ったかのようにツヤのある新鮮な輝きを作り出します。

ポリッシャーによる研磨作業が必ずしも必須ではなく、多少塗装表面が凸凹になってツヤが落ちてきたような経年車であっても、ちょっとした下地処理とダイヤモンドキーパーだけで、新車のような状態に戻すことができます。

経年車の塗装



光が乱反射して
全体が白く見える

ダイヤモンドキーパー塗布後



濃く発色して、
濃紺色がより濃くなった

ダイヤモンドキーパーは塗装を 頑丈にしたのだから洗車機OKは当然

旧ガラスコーティングの極薄の被膜に対して、数十倍もの圧倒的な厚みを持つダイヤモンドキーパーは、空気中の水分と自然な反応をさせてゆっくりと密度の濃い被膜を作っています。その上に雨じみ(水シミ)の防御性、ツヤと撥水性の増強するレジン被膜を加える独自の手法で、コーティング後は洗車だけで3年間の持続性を保証しています。その間、スポンジブラシの洗車機に限定するが、非常に便利で楽な「自動洗車機」の使用も可能。むしろ奨励してい

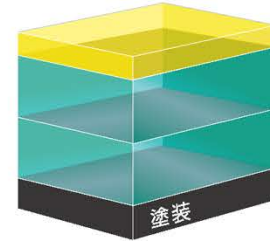


ます。レジン被膜部分を1年ごとに傷む犠牲被膜として扱い、定期的にレジン被膜をメンテナンス(交換)すれば、5年の耐久性が保証されます。

“W”ダイヤモンドキーパーが増えてきている

ダイヤモンドキーパーのガラス被膜を二重にかけて、独特の深みを増したツヤを楽しまれる“W”ダイヤモンドキーパーが、ダイヤモンドキーパーを経験済みのユーザーを中心に増えています。「ダイヤモンドキーパーが良かったので、今度の新車はWダイヤモンドキーパーをやってみよう」という感じです。

【Wダイヤモンドキーパーの構造】



2層のガラス被膜
+レジン被膜の
3層構造

Wダイヤモンドキーパーは特に汚れなくなる

“W”ダイヤモンドキーパーは、シングルのダイヤモンドキーパーに比べてツヤが一層増すだけではなく、はっきりと汚れにくくなるのです。ある程度日にちが経ち、透かして見るとうすらと表面にホコリが見えることもありますが、「雨」でキレイになってしまいます。

Wダイヤモンドキーパーに 1年ごとのBメンテナンスは最高

とにかく一番いいツヤが出るコーティングをかけて欲しいという贅沢なお客様には、塗装されている場所はすべてダイヤモンドキーパーケミカルを塗るWダイヤモンドキーパーのプレミアム仕様がおすすです。しかももう一つ、ぜひWダイヤモンドキーパーをかけた上で毎年Bメンテナンスをかけて、3年後にまたWダイヤモンドキーパーをかけるのもおすすです。Bメンテナンスは、ほぼクリスタルキーパーです。爆ツヤでの最初の擦りこみをちょっと強めにやって、Bメンテナンスでガラス被膜を補充すれば、もう一つ別次元のツヤが出るのです。

1回目のWダイヤモンドキーパーで目が肥えているお客様でもビックリ仰天するようなどんでもないツヤを実現することになります。ぜひ試してください。



新・ダイヤモンドキーパー パンフレット、好評です!

ダイヤモンドキーパーシリーズの魅力が、ぎゅっと詰まっています。コーティングを検討中のお客様に説明したりお渡しできるパンフレットです。

A4(W210×H297) 8ページ

PK149-01

100冊 1,200円 税別 送料別